

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（

飯田信用金庫

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）（R5.11.30変更）

| 項目番号 | 力テゴリ | チェック項目 | 取組レベル | 【非該当】の場合選択入力 | 【予定】の場合選択入力 | 具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載) | 主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|---|-----------|--------------|-------------|---|----------------------------|------|-----|------------|-------------------|-----|------------|-------------------|--------------|--------------|------|------|----|----------------------|----|----|----|
| | | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | | | | | | | 1 人権・労働 | 2 環境 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 1 | 人権・労働 | 【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している | 基本(必須) | | | ・就業規則やコンプライアンス基準書等への明記ならびに研修等の実施により差別しない体制を構築している。 ・各種相談窓口を設置している。 | | | | | 5.1 5.2 5.5 | | | 8.5 8.7 8.8 | | 10.2 10.3 | | | | 16.1 16.2 16.7 | | | |
| 2 | | 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している | 基本(必須) | | | ・ハラスメントを禁止する旨、また該当行為があつた場合は出勤停止、減給、けん責とする旨を明記している。 ・各種相談窓口を設置している。 | | | | | 5.1 5.2 5.5 | | | 8.5 8.8 | | | | | | 16.1 | | | |
| 3 | | 【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・勤怠管理システムへの勤務状況入力、インテリジェントボックスによる出退社時刻管理、時間外労働状況の毎月回覧等により、長時間労働の抑制を図っている。 | | | | | | | | 8.5 8.8 | | | | | | | | | |
| 4 | | 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している | 基本(必須) | | | ・現在外国人労働者はおらず、就業規則にも記載されていないが、「職員の人格を尊重し、労働条件の維持・改善を図る」旨を明記している。 | | | | 4.4 | | | 8.7 8.8 | | 10.2 10.3 | | | | | | | | |
| 5 | | 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・自動車やバイクによる事故を抑制するため、事故発生状況を回覧により周知している。 ・一般社団法人長野県安全運転管理者協会が構成するヤングドライバークラブに加盟している。 | | | 3 | | | | | 8 | | | | | | | | | |
| 6 | | 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・全職員のストレスチェックを定期的に実施している。 ・産業医と連携し、メンタル不調者のケアを行っている。 ・関東信用金庫協会メンタルヘルスサービスも含めた各種相談窓口を設置している。 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・女性が活躍できるような人事制度を設計している。 ・障がい者雇用や定年退職者再雇用を促進している。 | | | | 5.1 5.5 | | | 8.5 | | 10.2 10.3 | | | | | | | | |
| 8 | | 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している | 基本(必須) | | | ・職務や役割に応じた研修体系を整備・実施している。 ・受験や資格取得に要する費用を一部補助している。 | | | 4 | 5.5 | | | 8 | 9 | | | | | | | | | |
| 9 | | 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している | 基本(必須) | | | ・有期雇用者の無期転換により、同一労働同一賃金に対応している。 | | | | 5.5 | | | 8.5 | | 10.2 10.3 | | | | | | | | |
| 10 | | 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる | チャレンジ(任意) | | | ・産業医での健康診断・相談を定期的に実施している。 ・ISO事務局会議にて、快適で健康な温度、湿度、その他環境について議論した結果を実践している。 | | | 3 | | | | | 8 | | | | | | | | | |
| 11 | 環境 | 【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・廃棄物の分別方法を定期的に周知し、適正な処理ができるよう意識の向上を図っている。 ・EMS内部監査により、営業店における廃棄物の処理方法について定期的にチェックしている。 | | | | | | | | | | 11.6 | 12 | 14.1 | | | | | |
| 12 | | 【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している | 基本(必須) | | | ・毎月開催するISO事務局会議にて、全ての建物におけるエネルギー使用量、CO ₂ 排出量を報告している。 | | | | | | 7.3 | | | | | 13 | | | | | | |
| 13 | | 【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・毎月開催するISO事務局会議にて報告されるCO ₂ 排出量を削減計画と照らし合わせ、抑制に向けた取り組みを実施している。 | | | | | 7.2 7.3 | | | | | 12.4 | 13.3 | | | | | | |
| 14 | | 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・毎月開催するISO事務局会議にて、灯油、ガソリン、フロンの使用量や点検実施状況(簡易点検:3ヶ月に1回、定期点検:3年に1回)について適切に報告し、使用量の抑制を指示している。 | | | 3.9 | | 6.3 | | | | | 11.6 | 12.4 | | | | | | |

| 項目番号 | 力テゴリ | チェック項目 | 取組レベル | 【非該当】の場合選択入力 | 【予定】の場合選択入力 | 具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載) | 主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---------|---|-----------|--------------|-------------|--|------------------------------|---|-----|---|-----|-----|-----|---|-----|-----|----|----|------|------|------|------|----|----|
| | | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | |
| 15 | 環境 | 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している | 基本(必須) | | | ・エコユニフォーム、エコクロス通帳、ベジタブルインキなど、環境に配慮した素材を利用している。 ・天竜川水系環境ピクニックに参加し、生態系維持に取り組んでいる。 | | | | | | | 6.6 | | | | | | | | | 15 | | |
| 16 | | 【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・資源ごみは再利用に向け適正に分別回収している(リサイクル)。 ・各種機器で使用しているインクリボンは複数回使用している(リユース)。 | | | | | | | | | | | | | | 13 | 14.1 | | | |
| 17 | | 【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる | チャレンジ(任意) | | | ・毎月開催するISO事務局会議にて報告される水の使用量に基づき、抑制に向けた取り組みを実施している。 | | | | | 6.4 | 6.6 | | | | | | | | | | | | |
| 18 | | 【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している | チャレンジ(任意) | | | ・平成12年11月にISO14001(1996年版)を取得し、平成30年10月には最新版である2015年版に更新している。 | | | 3.9 | | 6 | 7 | | | | | | | 12 | 13.3 | 14 | 15 | | |
| 19 | | 【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している | チャレンジ(任意) | | | ・ディスクロージャー誌やホームページ等により、環境の取り組みに関する情報を適正に開示している。 | | | | | | | | | | | | | | 12.6 | | | | |
| 20 | | 【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる | チャレンジ(任意) | | | ・3店舗に太陽光パネルを設置し、グリーン電力の使用に努めている。 ・再生可能エネルギー事業者に対し、積極的に融資を実行している。 | | | | | | 7.2 | | | | | | | | 13 | | | | |
| 21 | | 【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる | チャレンジ(任意) | | | ・毎月開催するISO事務局会議にて報告される灯油、ガソリン、LPG、都市ガスを削減計画と照らし合わせ、抑制に向けた取り組みを実施している。 ・外部委託印刷では再生紙、植物性インクを使用するよう業者に働き掛けている。 | | | | | | | | | | | | | 12.2 | 13 | 14 | 15 | | |
| 22 | 公正な事業慣行 | 【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している | 基本(必須) | | | ・接待・贈答運用基準を定め、職員が接待・贈答を受けた場合または行った場合の内容確認を行っている。 ・上記に該当する場合、接待・贈答報告書を提出し、汚職や贈収賄に該当しないことを確認している。 | | | | | | | | | | | | | | | 16 | 16.5 | | |
| 23 | | 【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している | 基本(必須) | | | ・不正競争行為を含む行動規範を各種規程等により整備している。 ・全職員に対しコンプライアンス研修を実施し、意識の向上を図っている。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | | |
| 24 | | 【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる | 基本(必須) | | | ・商標権の取得および管理を適切に行っている。 | | | | | | | | | 8.2 | 8.3 | 9 | | | | | | | |
| 25 | | 【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している | 基本(必須) | | | ・飯田信用金庫個人情報保護宣言(プライバシーポリシー)を対外的に公表している。 ・個人情報保護に関する諸規程を7つ設けてあるほか、定期的な庫内研修で管理ルールを周知徹底している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 26 | | 【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している | チャレンジ(任意) | | | ・紛争鉱物は取り扱っていない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 |
| 27 | | 【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる | チャレンジ(任意) | | | ・各種規程等の制定や外部講師による研修等を通じ、倫理面での適切な対応ができる職場づくりに取り組んでいる。 | | | | | 5 | | | 8 | | 10 | | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | |
| 28 | | 【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト : https://www.biz-partnership.jp/ | 基本(必須) | | | 「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している | | | 3 | | | | | | 8 | 9 | 10 | | | | | | 17 | |

| 項目番号 | チェック項目 | 取組レベル | 【非該当】の場合選択入力 | 【予定】の場合選択入力 | 具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載) | 主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---|-----------|--------------|-------------|---|------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|----|
| | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | | |
| 29 | 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している | 基本(必須) | | | ・商品・サービスの開発時には、CMS、EMS、マネロン・テロ供与リスクの観点から安全性を確保するための仕組みを構築している。 | | | | | | | | | | | | | | | 12.4 | | | | |
| 30 | 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している | 基本(必須) | | | ・お客さまアンケート、覆面調査、電話応対調査等を定期的に実施し、その結果を全職員で共有することにより、商品やサービスの質を向上させるよう努めている。 | | | | | | | | | | | | | | 9 | | | | | |
| 31 | 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる | チャレンジ(任意) | | | ・エコクロス通帳、ペジタブルインキ、環境配慮型住宅資金、消費者ローンWEB申込など、環境に配慮した商品やサービスの開発・設計に取り組んでいる。 ・グリーンボンドを購入している。 | | | | | | | | | | | | | | | 12 | 13 | 14 | 15 | |
| 32 | 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる | チャレンジ(任意) | | | ・後見制度における被後見人の財産保護を目的として、後見制度支援預金を取り扱っている。将来の認知症発症に備えた「将来のための代理人サービス」を導入している。 ・資産運用、事業承継、M&A、女性応援、キャッシュレス決済、ものづくり補助金等の各種セミナーを開催している。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | | |
| 33 | 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している | 基本(必須) | | | ・南信州地域活性化事業「★三つ星☆プロジェクト★」を始動し、お取引先へのきめ細かな訪問活動により、課題の把握とその解決の手伝いをしている。 | | | | | 4 | | | | | | | 9 | | 11 | 12 | 14 | 15 | 17 | |
| 34 | 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる | チャレンジ(任意) | | | ・地域の次世代を担う人材の育成として、インターンシップや金融教育を実施しているほか、各種青少年スポーツに協賛している。 ・飯田市社会福祉協議会への寄附や特別養護老人ホームの清掃ボランティア、竹林整備を毎年実施している。 | | | | | 4 | | | | | | | | | 11 | | 14 | 15 | 17 | |
| 35 | 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している | チャレンジ(任意) | | | ・飯田丘のまちフェスティバル グルメサミット、三遠南信しんきんサミット、食の縁結び！南信州うまいものマーケット・商談会にて地消地産・地産外商の促進を支援している。 | | | | | | | | | | | 8 | 9 | | 11 | 12 | 13 | | | |
| 36 | 【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している | 基本(必須) | | | ・毎週の朝礼時に経営基本理念、経営ビジョン、行動指針を唱和し、意識の統一化を図っている。 | | | | | | | | | | | | | 8 | 9 | | | | 17 | |
| 37 | 【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している | 基本(必須) | | | ・全職員にコンプライアンス基準書を配付し、定期的に研修を実施している。 ・毎月全職員が行動基準遵守確認を行っている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 38 | 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している | 基本(必須) | | | ・コンプライアンス統括責任者・環境管理責任者を任命している。 ・処務規程により、当金庫の組織、職制、職務権限、業務分掌等が明確に規定されている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 39 | 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体） | 基本(必須) | | | ・総代、後援団体役員をはじめとしたステークホルダーと適宜対話し、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握、適切に対応している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | 17 | |
| 40 | 【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している | チャレンジ(任意) | | | ・毎月開催のALM委員会にて、定量化できるリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している。 ・定量化が困難なリスクは半期に一度開催する非定量化リスク管理委員会で把握・管理している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 41 | 【CSR】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいます | チャレンジ(任意) | | | ・経営基本理念、経営ビジョン、行動指針の策定・唱和により社会的責任に対する意識を醸成している。 ・ディスカウント・オフ・プライスでCSR活動を開示している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 42 | 【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している | チャレンジ(任意) | | | ・BCP、緊急連絡網、非常用職員名簿のほか、BCPに関連する各種規程・マニュアル等を作成している。 ・毎年BCP訓練を実施し、職員の危機管理意識を高めている。 | | | | | | | | | | | | | 9 | | 11 | 13 | 13.1 | | 16 |
| 43 | 【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている | チャレンジ(任意) | | | ・金融機関を取り巻く収益環境が非常に厳しい中、中長期経営計画や収益シミュレーション策定により持続可能なビジネスモデルを構築している。 | | | | | | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | 17 |

上記以外で設定した取組項目

| 独自に設定したSDGsに資する取組 | | 具体的な取組 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|-------------------|--|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定